

日々の授業を大事にした学力向上を目指した取り組み

【宮代町教育委員会】

1 学校・学年・教科 小学校・1～6年・算数

2 ねらい 日々の授業で学習の方法を身に付け、言語活動を効果的に位置付けていくことで、思考力の向上を図る。

3 主な取組

(1) 本時のめあてを児童が自分の言葉で確認する活動

授業はじめの号令で、本時で学習することやめあて、心構え等を児童自らの言葉で表し、学習への意欲を確立する。

(2) 本時の課題を教師が明確に表す

「本時で何を学ぶのか」を板書にきちんと表す。

(3) 本時のめあてをしっかりとらえる取組

- ① 問題を視写・または共書きする
- ② 「わかっていること」2つ以上と「求めること」を明らかにする。
- ③ 「わかっていること」には青ライン、「求めること」には赤ラインを引く。

単元名
学習課題(この時間のめあて)
○～

(4) 問題を解く順序の理解

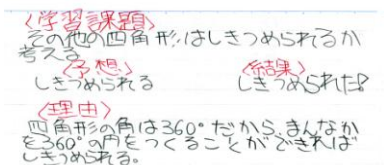
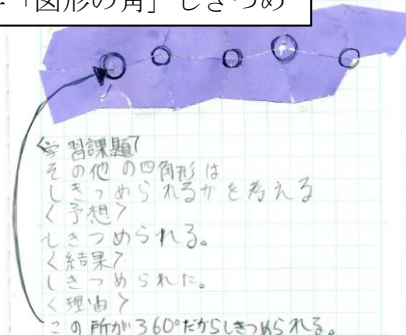
算数では既習を生かして新たな問題に取り組んでいく。そのために、

- ① 前時と何が違うのかに着目させる。
- ② 既習を生かして解決する方法を考える。
- ③ 問題から何算になるのかわかる言葉を探す。

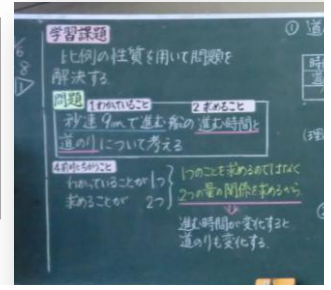
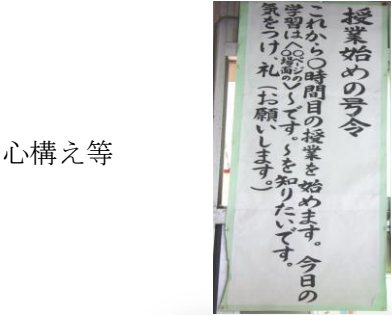
(5) 自力解決時の取組

図や言葉を使ってノートに表す。わからないときにも自分の考えていることをわかるまで書く学習を日々の授業で行っていく。

5年「図形の角」しきつめ



児童が自分なりの言葉で考えをノートに書いていく学習を繰り返し行っていくことで、言葉で表現していくことに慣れさせる。



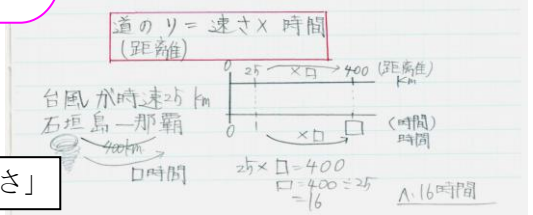
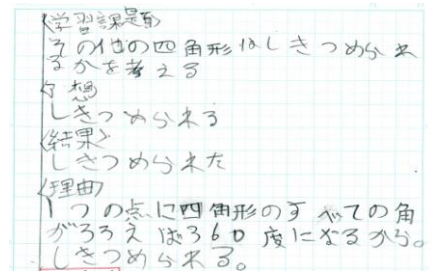
算数の時間の約束

問題

ひろみさんは、900円の本を買いました。

この本の値段は、雑誌の値段の5/3倍です。

* この他、既習を生かすということで、「何算かわかる言葉」「前時とちがうこと」などを見つけさせると自力解決に入りやすくなる。



6年「速さ」

